

# 1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年7月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2779300355
法人名	社会福祉法人 ラポール会
事業所名	くみのき苑グループホーム
所在地	大阪狭山市東菜葉木4丁目1160-2 (電話)072-367-9560
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年6月27日

## 【情報提供票より】(平成19年 6月 10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 4月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	6人, 非常勤 13人, 常勤換算 15.6人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート+鉄筋 造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	13,352円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	500円
	夕食	500円	おやつ	100円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要 (平成19年 6月 10日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	78歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	くみのき診療所・青山第二病院・榎本病院・松浦歯科診療所
---------	-----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

特別養護老人ホーム、デイサービス、有料老人ホームなどを展開している法人が、これまでのノウハウを活かして取り組まれているホームです。外部評価に対してもその意義を真摯に受け止め積極的に対応されており、今後の当ホームのケアの質的向上にも必ずつながることと期待できます。日常のケアにおいても、常に利用者の視点に立って取り組まれていることが確認できました。運営推進会議は定例的に開催されており、出席者により活発に討議されている様子が、議事録からも詳細に読み取ることができます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 玄関等の施設については、今回も解決されていませんでした。しかし、ホームとしても課題として認識し、今後その改善に向かいホーム全体として取り組むことが期待できます。 食事量と水分摂取量については、今回、管理表を作成し把握していました。研修については、実施はされていますが、研修計画が策定されていません。今後研修計画の策定が望まれます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は、ホームとしてやや厳しい姿勢で取り組まれており、改善に向かって積極的に取り組みを行っています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 地域包括支援センターの具体的な内容の紹介をはじめ、ホームの日々の活動内容の報告、年間行事予定の報告と協力の要請等を行っています。また家族の方からは、ホームの要綱に地域密着事業の内容を盛り込んで欲しいとの要請があり、既にホームの方で対応しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 職員の異動について、できるだけ少なくするようとの要請がありました。その他は、3ヶ月に1回「くみのき苑グループホーム便り」を作成し、写真入で家族に利用者の状況を報告しています。また家族の面会時には必ず家族の意向を聴取するようにし、玄関横には意見箱を設置しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域に対して併設特養との合同行事を開催し、地域にも開放して参加を呼びかけています。また、地域の一斉美化清掃運動に利用者も参加しています。現在は自治会および地元老人会への加入はしていません。

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の経営理念および行動指針の明示があり、その具体化を図るための3カ年の中期計画の中で、地域社会との結びつきの強化を目指しています。また、ホームとしての独自の対応方策についても、具体的に明示されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	3カ年計画について部門ごとに個別の取り組みを設定し、それに基づき日々のミーティング等を通じて実践しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	併設特養との合同行事を開催し、地域の方の参加を要請して、地域との結びつきに努力しています。また月に2度、周辺地域の一斉美化清掃運動に利用者也参加しています。自治会、老人会には未だ加入はなく今後この面でのさらなる積極的参加を期待します。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回で3度目の外部評価であり、その都度提起された課題について「要改善事項対策実施計画」を作成し、家族会や運営推進会議等にも公表して、課題の改善に取り組んでいます。自己評価もその都度実施しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、利用者家族、民生委員、地域包括支援センター職員等が参加し、各課題等を討議しています。また、詳細な議事録を作成し、各関係者に周知しています。会議の運営規則も作成しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議開催の1ヶ月前には必ず地域包括支援センターを訪問し、会議で討議する予定の課題やホームの取り組み状況等について説明しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者に変化が見られた場合は、遅滞なく家族に連絡しています。また、ホームでは3ヶ月に1回「くみのき苑グループホーム便り」を作成し、写真入で家族に利用者の状況を報告しています。また、利用者からの預り金管理のための金銭出納帳もあり、月末に家族から確認印を取得しています。金銭出納帳を更に見やすくするため、利用者ごとの個別の金銭出納帳に改善されてはいかがでしょうか。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に必ず家族の意向を聴取するようにしています。また、玄関横に意見箱を設置しています。ホームに対する苦情等は、法人全体のファイルに記録されており、内容を確認の上、改善に向け対応しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	昨年度は、職員の異動がやや多かったようです。これは5月と7月に法人全体を通した人事異動と契約社員の交代等によるものとのことでした。	○	利用者の安心感を高めるためにも、職員の異動はできるだけ少なくするよう更なる努力が求められます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	責任者を中心にできるだけ外部研修に参加するよう配慮しています。外部研修の際は、ホーム内の各会議において、必ず受講者からの報告による研修を行っています。その際の議事録や研修内容も保存しています。今後は事業計画の中に、研修計画を取り入れて行くことを期待します。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の市も含めホーム周辺で開設されている他の7ヶ所のグループホームと、3ヶ月に1回定例の交流会を開催し、職員同士の話し合いや食事会等を実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	従前よりセンター方式のアセスメントシートを用いてアプローチを行い、ホーム入居前の情報を利用者や家族からも聞き取り収集し、それを介護計画書の作成に結び付けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者ができることは積極的に担当してもらっています。壁に飾られた壁掛け細工は利用者と職員との合作で見事なでき栄えでした。利用者の中には元書道の先生もおり、役割をもって活躍しています。また、食事の準備の際にも、利用者はできることを各自担当されていました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の訪問はかなり多く、その際に意向を聴取するとともに、日々の利用者との触れ合いの中で、個々の利用者の思いや希望をしっかりと受け止め、その対応に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントシートにより過去の生活歴をしっかり把握し、それに基づき介護計画書を作成しています。しかし、一部、介護計画書に対する利用者、家族による確認のサインがないものもありました。	○	介護計画書には、利用者、家族が確認したというサインが求められます。 また、生活面の情報に集中してしまいがちなため、さらに利用者の全体像を認識できるように今後の努力を期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居後の利用者の状況等についても日々の個人別のケア記録等によりモニタリングが実施され、それに基づくケアカンファレンスにより3ヶ月に1回の介護計画書の見直しがあります。また、この際、ケアカンファレンスによる利用者別の検討結果については、職員全員の確認印も取得しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの1階にデイサービスセンターがあり、この機能を使った取り組みも行っています。また、同じく併設されている特養のリハビリテーション担当者のアドバイスも受けて、利用者に対するケア面の質的充実を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設特養の診療所を日常的に利用していません。また、精神科の医師は月2回、歯科医は週1回の往診があります。また、利用者の中で主治医のある方について、通院の際の送迎は家族の方に実施してもらっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在は、まだターミナル期の利用者はいません。しかし、今後はホーム内でもターミナルケアを目指して取り組んでいく姿勢があります。	○	今後は必要に応じターミナルケアが行えるよう、ターミナルケアに対する取り組みの具体的対策の検討が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対する職員の声かけや職員同士の会話などにおいて、プライバシーに対する配慮が確認できました。また個人情報の管理や取扱については、規定が作成されていました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常のケアの流れについては、一応日課が定められていますが、それに縛られることなく、利用者中心の対応を行っています。入浴、食事の際も、柔軟な対応を行っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は基本的には全てホームとして購入しています。献立も利用者の意見を聞きながら週間の計画を作成しています。また食事の際の事前準備、調理、配膳、テーブル拭きなどは、利用者の中でそれぞれ担当が決められ、利用者、職員共同での食事作りを行っています。また、食事の際も介助の必要な利用者に対してさり気なく対応しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の回数は平均週3回ですが、希望により毎日でも対応しています。入浴管理表も別途作成していました。職員体制の関係で夕食後の入浴は原則として行っていませんが、利用者の希望も今のところはありません。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	手芸の好きな人、調理の好きな人、それぞれの役割が自然と決まっています。魚をおろす方も居られます。デイサービスの休館日には、そのカラオケセットを使用してカラオケも実施しています。また、ラウンジに和室コーナーがあり、そこでは家族と一緒に鍋ものを楽しんでもらうこともできます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は、毎日、自動車あるいは徒歩、車椅子により戸外に出かけられています。できるだけ頻繁に外出援助ができるように配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関およびホームの境界にあるフェンスにも鍵が掛かっています。2階、3階の出入り口にはスタッフの詰所があります。	○	今後は、玄関とフェンスの鍵の開錠に向けて、さらなる検討を進めていくことが求められます。また開錠に際してどんな問題があるのか、全体会議等により、課題解決に向けて検討することが期待されます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災時のマニュアル及び連絡網を整備しています。また、年2回消防署との避難訓練を実施しています。災害時に備えて食料品及びミネラルウォーターを3日分準備しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握した上で、食事量や水分摂取量を記録しています。現在はホーム独自の献立を作成していますが、併設特養の管理栄養士から適宜アドバイスを受けることを期待します。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りやベランダに可愛い花の植え込みがあります。また、ホーム内の廊下、窓際には、職員と一緒に作成した手芸品、壁掛けなどの装飾があり、居間には手作りのカレンダーが掛かっています。特に壁掛けの細工は、利用者と職員の共同作品であり見事なものでした。窓の外のベランダの周囲にもお花の植え込みがありました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	和室と洋室の2種類の居室の広さは15㎡あり、通常のホームに比べて余裕があります。その中で利用者の希望により、仏壇や神棚等を置いている方もいました。さり気ないセッティングの中で、生活感を感じることができました。		